

女子ソフトテニス部関東選抜インドア大会レポート

平成26年1月24・25日、12月の埼玉県予選を2位で通過した上尾高校女子ソフトテニス部が、昨年に引き続き「全国選抜」を目標に関東インドア大会に臨みました。

予選から接戦を凌ぎ苦しみながらも出場権を獲得した昨年とは異なり、戦力も整い全国の舞台で活躍できるチームでの挑戦です。試合会場はバレーボールのメッカ東京体育館、直後にはソフトテニスの全日本室内の会場ともなるコートで選手たちが挑みます。



1回戦の相手は、茨城1位のつくば国際高校。関東・インドア大会には連続して出場しており強豪のひとつです。集中力抜群の上尾高校は、試合開始から村田・関口組が終始リードを奪い、落ち着いた展開で初戦を取ると、続く2ペアが危なげなく勝ちきりそのまま3 - 0で勝利することができました。

村田・関口	4 - 1	つくば国際
前田彩・笠井	4 - 3	つくば国際
猪狩・前田優	4 - 0	つくば国際

2回戦は準々決勝となり、相手は千葉1位の昭和学院高校。インターハイの常連で全国レベルの強豪校です。ベスト4進出は自動的に全国大会の権利を得るので両校にとって大一番です。また昨年のこの大会で、緒戦1-2で惜敗した因縁の相手でもあります。

結果は、一番手で出た前田彩・笠井組が接戦を制し、最後猪狩・前田優組が安定した試合運びで寄せ付けず、見事ベスト4進出と7年ぶりの全国選抜出場を決めてくれました。



前田彩・笠井	4 - 3	昭和学院
村田・関口	1 - 4	昭和学院
猪狩・前田優	4 - 1	昭和学院

一夜明けて大会は2日目、残っているチームは男女各4校、関東王座を狙う精鋭ばかりです。県の専門部長でもある浦部校長先生も応援席から見守る中、いよいよ準決勝が始まります。ベンチ・保護者の方々の大声援を受け栃木の白鷗大足利高校と決勝進出を向け対戦します。





オーダーは昨日の1回戦と同じで、村田・関口組が一番手で登場です。長いラリーが続く中、上尾の何本かが際どいアウトとなり先手を許す展開となりました。内容は競ったものの2 - 4で第一対戦を落とし後がなくなりました。2番手は前田彩・笠井組、ここで挽回しなければなりません。責任感からか多少堅くなっている前衛笠井を前田彩がカバーする場面もあり、最後はいつも通りの躍動的なプレーで勝ちきり猪狩・前田優組につなぎました。満を持して登場した猪狩組でしたが相手のカットサーブに手こずり内容は互角でしたが3ゲームを先取されてしまいました。最後必死の粘りも及ばず残念ながら準決勝敗退となってしまいました。





村田・関口 2 - 4 白鷗大足利
 前田彩・笠井 4 - 2 白鷗大足利
 猪狩・前田優 0 - 4 白鷗大足利



決勝には進めませんでした、堂々の第3位です。関東代表として、さら

に課題を克服し、胸を張って全国大会に挑戦します。

今後ともご声援よろしくお願ひします。